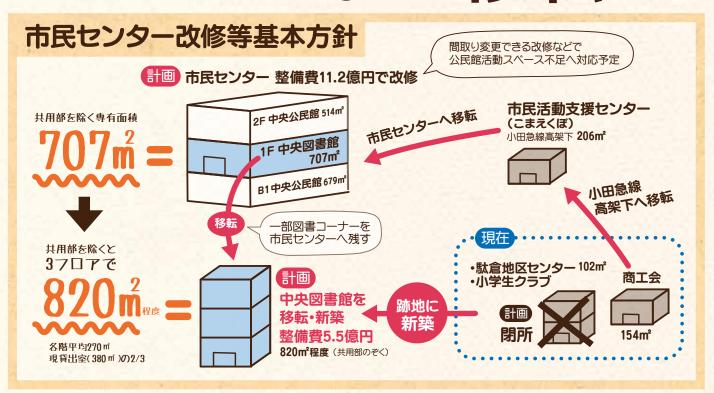
市民センター改修等基本方針で

新築図書館



狭い敷地に3階建

本が探しにくい、職員も負担増に 子どもたち・高齢者の安全は?

2ヶ所に分割されて不便に

市民センターと新図書館

増えるのは113m²

市民アンケートで約7割が蔵書とスペース増を 望んでいる

足りないのは

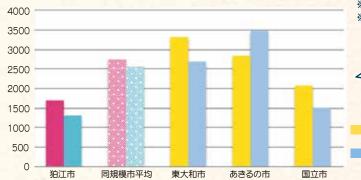
スペース

- ●車イス、ベビーカーで利用できる通路
- ●本・雑誌を読む ●調べる、学習する
- ●見て選べる書棚

資料とサーヒス

- ●調べもの、在宅ワークにも対応
- ●検索できるデータベース
- ●映像·音声資料 ●IT環境の整備
- ●障がい者サービス、外国人対応

人口規模が近い市の中央図書館の蔵書数と床面積



※「日本の図書館2019」日本図書館協会刊2020より

※ 床面積は共有部分を含む ● 国立市蔵書数は2015年度

※人口規模75,000人~85,000人の多摩地区自治体を比較

狛江市の 中央図書館は狭い! 資料が少ない!

多摩地域の同規模市 平均値よりかなり低い

中央図書館蔵書数 百冊 |中央図書館床面積 m²

多摩26市 全蔵書数 比較では 最下位

オンライン署名は こから

"市民合意の得られていない「狛江市民センター改修等基本方針」を一旦保留し、 使いやすい市民センター(公民館・図書館)の増改築を、市民参加・市民協働で再検討すること" を求める要望書に賛同お願いします。